

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
阿見西部地区

平成26年 12月

茨城県阿見町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	渋滞率	混雑度	2.03	1.42	1.72	確定 ●	△	あり ●	1.65	平成26年9月	△	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	フォローアップ時点では、目標値に達していないが、事後評価時点より改善が見られること、都市計画道路の交通量が増加傾向にあることから、今後は当該道路の渋滞が更に緩和することが見込まれる。
指標2	建築戸数	戸	132	290	565	確定 ●	○	あり ●	512	平成26年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	質の高い都市基盤の構築及び良好な住環境をアピールした結果、住宅の立地促進につながった。
指標3	住環境に関する満足度	%	57.9	60.3	78.8	確定 ●	○	あり ●	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	生活道路や都市施設の整備等を実施したことにより、住環境に関する満足度につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	身近な生活道路の整備に関する満足度	%	44.6	/	65.0	確定 ●	/	/	-	-	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	生活道路の整備を実施したことで、住環境に関する満足度につながった。
その他の数値指標2	幹線道路の整備に関する満足度	%	59.1	/	82.8	確定 ●	/	/	-	-	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市計画道路荒川沖・寺子線が整備され、広域的道路ネットワークが構築されたことにより、幹線道路の整備に関する満足度につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために行う方策 	安全で快適な住環境の保全	・狹隘道路の拡幅整備	・狹隘道路の拡幅整備による快適な道路空間の整備を実施することで、安全で快適な住環境の整備につながった。	・住民の要望等を踏まえながら、引き続き、快適な住環境となるよう取組みを続ける。 ・LED防犯灯の整備などさらなる安全で快適な住環境の構築を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	広域道路ネットワークの構築	・荒川沖・寺子線や、中郷・寺子線の部分開通	・都市計画道路が部分開通し、自動車交通の分散化が促進され、渋滞道路が改善し始めている。	・都市計画道路等の整備を引き続き実施することで、広域道路ネットワークの整備を進める。
	住環境のさらなる改善	・狹隘道路の拡幅整備	・狹隘道路の拡幅整備による快適な道路空間の整備を実施することで、安全で快適な住環境の整備につながった。	・住民の要望等を踏まえながら、引き続き、快適な住環境となるよう取組みを続ける。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
継続した広域道路ネットワークの構築	都市計画道路寺子・飯倉線の整備	平成27年度以降	都市計画決定の見直し